



清光学園だより



「新園舎デキタゾー」

施設整備担当 藤原美宏

清光学園の新園舎が完成しました。学園の子どもたち、職員の方々、新しい園舎で快適な生活を送って下さい。

この新園舎との関わりは、平成二十六年四月に大竹園長が花巻市役所石鳥谷総合支所を訪れ、「園舎を新しく建てたいので、土地探しを手伝ってくれ」と言われたのが始まりでした。（これが退職後の運命の分かれめ？）

その後、大竹園長から花巻市が所有している土地に是非新園舎を建築したいとの強い要望から、時間を要しましたが土地代無償貸与となりました。（これで役割終わったぞ〜と思ったら）

平成二十九年三月末で市役所を退職しづらぐらしてたら、再度、大竹園長から暖かい一言？「暇してるなら、園舎建築を手伝わないか」と誘われ、新園舎建築の仕事に携わることとなり、手探り状態と紆余曲折はありましたが、多くの方のご支援、ご協力により無事に新

園舎が完成しました。ありがとうございます。

三十年位前ですが、岩手県職員の方から仕事で自分が住んでいる町の地図に足跡を残せと言われたことがあります。今度の新園舎建築の仕事で又一つ足跡を残すことができました。感謝の念に堪えないところです。

どんな仕事でも、人と人の「繋がり」「信頼」で仕事の良し悪しが決まります。それを大切にすることで、自分自身の糧にもなると思っています。清光学園の皆さん「心配り、心配り、目配り」により、周囲が今何をしているか感じ取ることに心がけてください。

学園の子どもたち、新園舎に早々に傷つけるなよ、ガラス割るなよ、大切に使うてくれ！……お願いだから。



児童養護施設
清光学園

新
園
舎

〒028-3101 岩手県花巻市石鳥谷町好地第4地割80番地13
TEL 0198-45-5173
FAX 0198-45-5945
WEB <http://www.seikougakuen.jp>
E-mail seikougakuen@seikougakuen.jp



平成30年6月14日 着工

清光学園 完成までの記録



平成30年11月13日 撮影



平成30年8月24日 安全祈願祭



平成30年12月10日 撮影



内装

平成31年3月8日 撮影



Seikou Gakuen

4月1日が待ち遠しい!!

オリオン (男子ホーム)

ギリシャ神話に登場するオリオンは海の神ポセイドンの子で優れた獵師です。

オリオンのように力強く、たくましく育て欲しいと願いが込められています。

スピカ (幼児&女子ホーム)

スピカは肉眼では1つの星に見えますが、重力で結ばれた2つの星です。この2つの星の

昨年夏の終わりに児童会を開き子どもたちにホームの名前について話し合いを行っていただきました。様々な意見が出ましたが、子どもたちから一番多くでたのは星の様に輝くといった理由から星にちなんだ名前が良いという意見でした。

4ホーム 名前発表

職員も子どもたちと一緒に星の名前を調べ、ホーム名にふさわしい意味のある星を選びました。中には自ら調べてくれた子もいました。

子どもたち、職員みんなで決めた大切な名前です。

星の様に輝け！清光学園！

シリウス (女子ホーム)

シリウスは天体で最も明るい星です。

「光輝くもの」を意味しています。

ペガサス (男子ホーム)

ペガサスは翼の生えた美しく、賢い馬です。

ペガサスの様に賢く、美しく、力強く育て



子ども達と職員に聞きました！ 清光学園のこと

Q 旧園舎の好きな所は何ですか？

- A 自習室！マンガがいっぱいあるから！
(Rちゃん 9さい)
- A 体育館！普通のお家にはないから！
(Hちゃん 15さい)
- A 園庭が広い！サッカーができる！
(Rくん 8さい)
- A おもしろい人が多い！
(Eちゃん 17さい)
- A ご飯がおいしい！
(Oくん 9さい)
- A 猫がいるところ♪
(Mさん 職員)

Q 新園舎で楽しみなことは何ですか？

- A トイレが水洗トイレなこと！！！！
(Cさん 職員)
- A 新しいキッチン！IHなところ！
(Cさん 職員)
- A 駅が近いところ！通学が便利！
(Sくん 15さい)
- A シャワーが途中で水にならない！
(Hくん 7さい)
- A 小学校が近くになること！
(Kくん もうすぐ11さい)
- A 1人部屋でベッドと机があること！
(Kくん 10さい)
- A クーラーがあること！
(Yくん 12さい)

「ありがとう」の思いを込めて

菊池 照子

昭和五十四年三月十五日に勤務し、あつという間の四十年平成の終わりと同時に幕引きする園舎

物のない時代にスタートし、初代石森貞三郎理事長に「紙一枚、水一滴粗末にはならぬ」と叩き込まれて育った、職員、子どもたちは、想像もつかないでしょうね

延べ三百十八名の入所児童を数え、第一期卒園生はすでに五十五歳。子どもはもちろん孫までいる世代であり、とても歴史を感じます。「挨拶のしっかりできる子」「太陽のごとく明るく元気な子を育成する」のスローガンに初代石森絢子園長と共に三十四年、その後、大畠啓一園長、高橋和宏園長、佐々木賢三園長、そして新園舎設立に五年間尽力された大竹昌和園長とバトンが渡され、新たな園舎は、全児童個室のユニットスタイル。JR石鳥

谷駅西口にドーンと鎮座。道行く方々や電車の窓からもバッチリ見える素敵な外観。

六代目高橋一栄新園長を中心に新年号と共にスタートする二代目清光学園園舎設立に携わってくださった関係各位、そして地域の皆様方のご理解、ご協力のもと四月一日にオープンする運びとなりました事に深く感謝申し上げます。

キジの親子も遊びに来てくれるほどの自然豊かな環境の元、四季折々の風にふれながら、かわいい子どもたちに囲まれながら過ごした四十年に感謝…

「ありがとう 清光学園」



旧園舎

最後の退園式

三月三日、清光学園旧園舎の最後の退園式が行われました。

退園生はKくん一名。Kくんは九年間を現在の園舎で過ごしてきました。四月からは社会人になります。学園生活の思い出を心の支えに、小学校から続けてきた野球で鍛えた体力、忍耐力、筋力で社会の荒波を乗り越えていって欲しいと思います。

Kくんの九年分の思い出、在園生、職員、みんなの沢山の思い出が旧園舎には詰まっています。新園舎が楽しい気持ち半分、思い出の詰まった園舎との別れが悲しいです。

四月からは、みんなが新しい生活をスタートさせます。

Kくん新生活ファイト!!
清光学園ファイト!!

